



子どもたちの健やかな成長を願って

園長 野田 久美子

木々の緑がまぶしい季節を迎えました。園庭では、年長組が作ったこいのぼりが爽やかな風を受けて泳いでいます。子どもたちは、入園・進級の緊張が解け、少しずつ自分らしさを出せるようになってきました。

入園当初、年長児に手を引かれて保育室に行き、身支度を手伝ってもらっていた年少児は今では自分で保育室に行かれるようになりました。お気に入りのおもちゃや身近な大人と関わりながら幼稚園で安心して過ごせるようになってきています。年中児は、互いの保育室を行き来しながら興味をもった遊びをしたり、一緒にいたい友達と過ごしたりしています。中型箱積木やついたてを使って遊びの場を作り、友達と同じ場で同じものを持ち同じような動きをすることを楽しんでいます。年長児はグループの友達数名と一緒に大きなこいのぼりを作りました。友達と相談しながら進めることが課題の新しい活動です。自分の思いばかりを主張しても、かといって何も言わずに黙っていてもできません。自分の気持ちと向き合い友達の思いに気付きながら取り組みました。そして、こいのぼりが完成したことを友達とともに喜び、頑張ったところや苦労したところをグループごとに発表しました。「友達と力を合わせるとすごいことができる」という成功体験を味わえたことでしょう。

幼稚園は、就学前教育の学校として環境を通した教育を行っています。小学校のように教科に分かれた教科書はありません。子どもたち一人一人の健やかな成長を育む経験は環境を通して総合的に行われます。それは前述のお気に入りのおもちゃだったり、場作りができるものであったり、グループ活動の課題やともに活動する友達の存在だったりします。子どもたちは環境に対して主体的に関わり、ものや場、人との相互のやりとりを通して、自分なりの行動の仕方や考え方を身に付けていきます。教師は、子どもたちが安心して自己を発揮して取り組めるように、より楽しさを味わえるように、困った時に寄り添えるように援助していきます。

春から初夏へと季節が変化する5月、大型連休があり緊張感が緩む時期でもあります。ご家庭でもお子さんをしっかりと受け止め、お子さんが安心して過ごせる時間を大切にいただけたらと思います。そしてまた、元気に幼稚園に送り出していただけますようよろしくお願いいたします。



「線路がつながった」(年少組)



「電車が発車します」(年中組)



「もうすぐ完成だね」(年長組)